



福島県酒造組合会長
福島県酒造協同組合理事長
新城 猪之吉



福島県知事
内堀 雅雄

人々に愛されるふくしまの酒「ふくしまプライド。」

福島県は、震災から間もなく7年になろうとしています。今なお、各方面において、風評による影響は根強く残っておりますが、私たち福島県民、県内事業者は、そのような逆境にも負けることなく、復興へ向けて着実に歩み続けております。

そのような中、福島県の蔵元の皆さんは、国内で最も歴史と権威のある全国新酒鑑評会において、平成25年から5年連続で金賞受賞数日本一の快挙を達成するなど、震災後、私たちが失いかけていた誇りと大きな自信を取り戻してくれました。ふくしまの酒は、豊かな自然と大地に育

まれた「清らかな水」、「おいしいお米」、「造り手の高い技術」に加え、震災に負けず、ふくしまの酒をもっと高みに上げようとする酒造関係者の皆さんの情熱「ふくしまプライド。」が一つになったたまものであり、正に福島県の宝であります。

福島県酒蔵ガイドの初版発行から3年が経ち、皆様に更なる進化を遂げたふくしまの酒の魅力について、より深く幅広く理解していただけるよう、改訂を行うことになりました。この冊子が、皆様にとりまして、ふくしまの酒との良き出逢いの一助になりますことを心から願っております。

5連覇！ついに成しとげました。名実ともに日本一になる6連覇、7連覇、いや8連覇と連覇の道が続け、福島県民の皆様が胸を張って誇れる酒になるべく、今日もまた酒造りに励んでおります。福島県は浜通り・中通り・会津の気候や風土の全く違う中で、それぞれの酒を醸しております。その違いが福島のみごちです。それぞれの地区に美しい米・水・自慢の料理があり、それらの『つまみ』に合わせて飲む酒の何と美味しいことか！その『つまみ』もふくしまプライド。酒があつての食べ物。食べ物あつての酒です。銘柄それぞれの土地に思いをはせ、楽しんでいただきますようお願い申し上げます。

もう一つ、福島県には「技」もあります。後継者育成を目的に「福島県清酒アカデミー職業能力開発校」を設立して25年。卒業生も268名を数え、各蔵元の第一線で活躍しています。また、金賞のとれる美味しい酒造りを目指す「福島県高品質清酒研究会」での技術力向上が鑑評会出品酒だけではなく、他のふくしまの酒も素晴らしいものとしていきます。今年度も各地で「ふくしまの酒まつり」を開催し多くの日本酒愛好家に県産酒を振る舞い、ふくしまプライド・金賞の技を披露しました。今後とも日本国内はもとより、世界にふくしまの酒を発信していきます。

